

ふくさき

議会だより

第124号

平成24年
11月15日

兵庫県福崎町議会



花つみ、たのしいな!!

(南田原にて・姫学保育園)

9月定例会

23年度一般会計・特別会計決算を認定
福崎幼児園に続き、田原幼児園が完成

2

下水道使用料に関する異議申立てに対して答申
建設工事等にかかる不正行為に関する調査委員会から全員協議会に報告

9

常任委員会報告 総務文教・民生・産業建設・議会運営

10

ここが聞きたい！一般質問（10人が町政を問う）

14

議会インタビュー 福崎町猟友会

19

わたしもひとこと「昔の池、川が懐かしい＝汚した水は、我々の手で」

20

第446回 定例会

特別会計決算を認定

福崎幼児園に続き、田原幼児園が完成

9月定例会は9月10日に開会し、18日間の会期で9月27日に閉会しました。

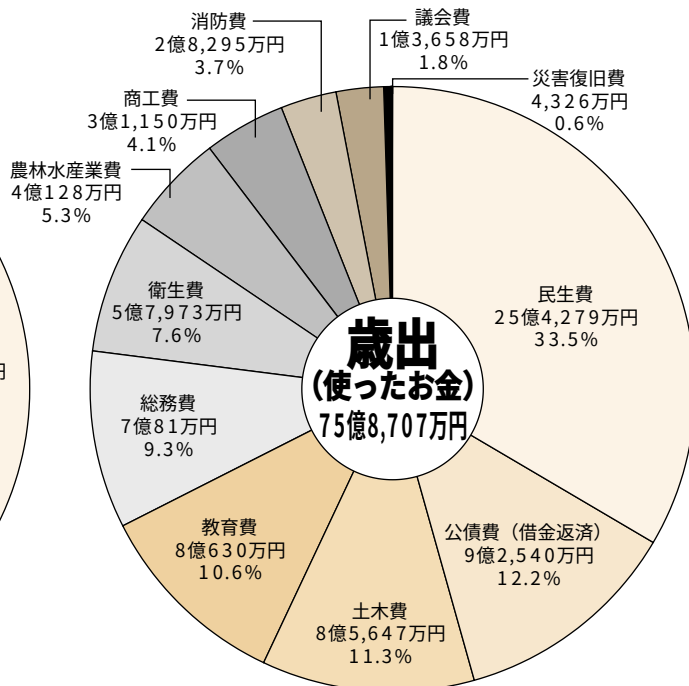
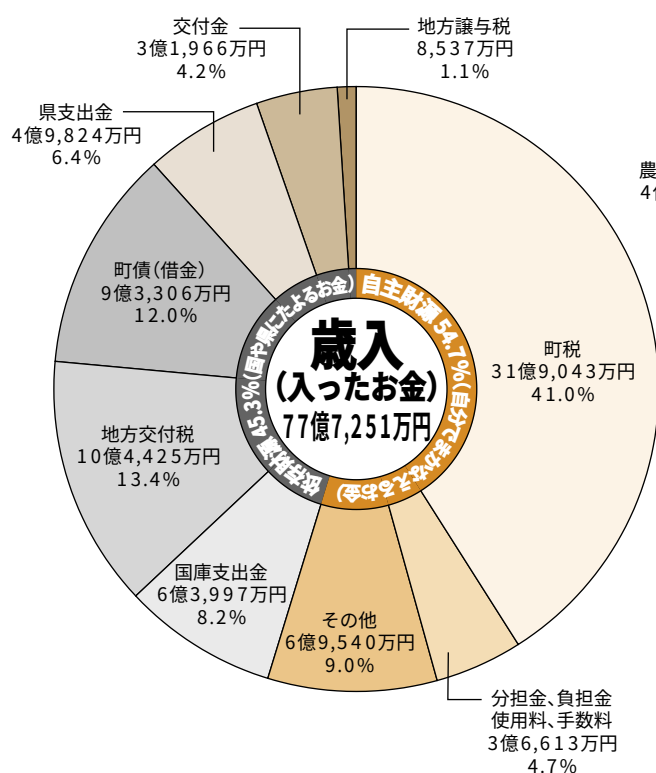
平成23年度一般会計及び国民健康保険・公共下水道事業特別会計決算認定など報告1件、議案13件、発議1件、諮問1件が提案され、すべてを原案のとおり認定・可決及び答申しました。

一般質問は、10人の議員が町政についてたずねました。

決算審査特別委員会での主な意見

- あらゆる財源の積極的な確保に努めるとともに、第4次総合計画に沿った町民福祉向上のための施策を積極的に推進するよう求める。
- 「選択」と「集中」を慎重に判断し、町民の緊急かつ切実な課題の解決に向けて努力を求める。
- 税の公平負担の観点から生活実態をよく調査し、収納率の向上に努めることを求める。
- 人口の減少に伴って普通交付税が減少し、厳しい状況となっているのでさらに財政健全化への取り組みを求める。
- 各特別会計においてはより一層、経費の合理化、効率化への努力を求める。

■ 一般会計決算のなかみ ■



23年度一般会計

決算審査特別委員会での主な質疑

一般会計

歳入

- 問** 町民税、法人町民税の減収対策として、福崎町に人が入ってくるのか、企業が仕事をしやすくなる方法はないのか。
- 答** 法人町民税は景気の動向にもよりますので、現在は非常に厳しいと思っています。
- 問** 消費税が上がるが、当初の3%のままである駅前駐車場使用料の見直しは行わないのか。
- 答** 見直す考えは今のところありません。
- 問** 「兵庫ゆずりあい駐車場」はどこにあるのか。
- 答** 役場 サルビア会館文珠荘、JR福崎駅前の派出所、文化センター、図書館 エルデホール、八千種研修センターです。
- 問** 自然歩道を歩こう大会を3コースで実施しているが、町民がこぞって参加できるよう、もう1コース増やしてはどうか。
- 答** 今のところ増やす考えはありません。24年度も3コースで実施する予定です。
- 問** 町史の売却状況は。
- 答** 1巻が3冊、2巻が2冊、3巻が1冊でした。
- 問** 在庫の状況からすれば、完売まであと何年かかるのか。
- 答** 在庫をゼロにすることは考えていません。
- 問** 作るときに、どういう目的で、どう利用するのか検討していたのか。
- 答** 歴史民俗資料館の事業での活用や大学、記念館等での利用を考えています。



自然歩道を歩こう大会（23年11月23日）

23年度 会計別決算状況

（1万円未満四捨五入）

会 計 名		歳 入（入ったお金）	歳 出（使ったお金）
一 般 会 計		77億7,251万円	75億8,707万円
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険 事 業	19億2,693万円	18億7,503万円
	後 期 高 齢 者 医 療 事 業	1億9,803万円	1億9,543万円
	介 護 保 険 事 業	12億5,339万円	12億5,053万円
	農 業 集 落 排 水 事 業	2億4,727万円	2億4,727万円
	公 共 下 水 道 事 業	17億1,341万円	16億9,761万円
合 計		131億1,154万円	128億5,294万円

歳出

問 交通事故が起きたことで、道路改修や看板の設置が必要になったところはあるか。

答 必要に応じてカーブミラーや看板を設置しています。

問 事故が起きるということは問題があると思う。予算の増額が必要ではないか。

答 随時、危険箇所から対応したいと思います。

問 人生80年いきいき住宅助成金の利用はどうか。

答 以前と同じぐらいで推移しています。啓発はケアマネジャーを通じて行っています。



改良されたカーブミラー（八千種）

問 文珠荘の入浴料金は町内の老人で100円だが、低すぎるのではないか。

答 福祉施策で町内老人を100円としており、適正だと思っています。

問 近隣にある民間の入浴施設は料金が高いが、それでも利用が流れているのではないか。一定の適正な価格で民間に負けないような魅力あるものにする必要があるのではないか。

答 民間の施設へ行かれる方は価格よりもサービスを求められているのではないかと思っています。妊婦健康診査費補助金は、ほとんどの方が全額使われていないのではないか。

答 産科医院によつて金額も変わりますし、早産や転入・転出などですべて使われないことがあるためです。母子手帳交付時に全額分をお渡ししています。

問 子宮頸がん等ワクチン接種はほとんどの方が受けられているか。

答 90%以上の方が受けられています。

問 特定健診の受診率はどうすれば上がると考えているか。

答 未受診者に対して電話や訪問で実態を把握し、受診を勧めています。

問 無料にしたらどのくらい町の負担が増えるのか。

答 特定健診で300万円、その他を合わせると約600万円かと思っています。

問 今残っている松を枯らさないように松くい虫航空防除は継続すべきではないか。

答 県へ要望を継続します。

問 観光客を増やすためには道路整備も必要ではないか。

答 田口公民館までは拡幅済みです。ライオンズの森までは県道ですので、要望はしています。

問 観光DVDを作成したが、どこへ何枚配布したのか。

答 170枚作成し、各自治会や関係課、学校、商工会、県民局などへ配布しました。

問 そのようなところへの配布で果たして効果はあるのか。検証はしたのか。

答 検証はしていませんが、ミニデイや老人会などを通じて町内の方、また町外に出られている方に知ってもらおうほか、視察の受け入れ時にも使ってもらえれば効果が上がると思っています。

問 住民に対する災害対策の取り組みは。

答 防災マップをつくり、訓練することによって対策をとってもらおうようにしています。



柳田國男生家

訓練することによって対策をとってもらおうようにしています。

問 防災マップはほとんどの方が知らない。ある程度の方向性を持つべきではないか。

答 各集落の自主防災組織を再編してもらい、訓練などをしてもらえたらと思います。町全体での訓練も企画していきたいと思っています。

問 公費で支出すべきものがPTA会費から支出

されている例が他市町ではあるようだが、福岡町はどうか。

答 PTA会費の使途は役員会で決められ、総会で承認されています。公費で支出すべきものは公費で支出しています。

問 柳田國男・松岡家記念館の入館料を無料にしているが、ずっと無料とするのか。

答 三木家の公開に合わせ検討したいと思っています。

問 社会教育施設の耐震状況は。

答 文化センター、第1体育館が不適格とされました。

問 長寿命化と言うが、文化センターはあとどれくらい使う予定をしているのか。

答 できるだけ長く使いたいと思っています。

問 音響を良くしてもらえないかという要望を聞か。

答 要望は聞いていますが、すぐにはできません。

問 エルデホールの利用方法を見直したとのことだが、利用は増えたのか。

答 16年に減免規定を見直しました。23年度は約50%が無料での利用です。利用者は横ばいです。

問 給食への異物混入があったが、その後どうしたのか。

答 業者へは文書で通知し、再発防止策を文書で提出してもらっています。

問 県民交流広場はどこが作ったもので、どの

所有になっているのか。

答 県の全額補助を受けて各校区推進委員会が作り、所有は各委員会になっています。

問 推進委員会は法人なのか。

答 法人ではありません。

問 補助は5年ということだが、期限が過ぎた後はどうなるのか。

答 自主的に運営してほしいと思います。

問 委員会の代表の名義で補助を受けるのはいい

が、建物の所有は納得いかない。その認識はあるか。

答 補助が終わった後のことも含め、県とも相談したいと思っています。

問 土地の使用契約はどうなっているのか。

答 申請を受け、許可しています。

国民健康保険事業 特別会計

問 調定額に比べ約1億

3000万円の収入未済額があるが。

答 生活実態に見合った徴収努力はしています。

問 財政状況が厳しくな

っていく中でどう考えるのか。対応を早く考えておかないといけない。

答 多くが不納欠損しないといけないのが事実です。国の制度改正に合わせ

てやっています。町としてできるものからしてい

ていきたいと思っています。

問 移送費の支出がない。周知が足りないのではない

か。

答 対応してもらえる病院もあれば、そうでないところもあります。周知

していきます。

後期高齢者医療事業 特別会計

問 法の規定とはいえ、

保険者を県下で一つとしたことは福岡町にとって

良かったのか。

答 保険料は一部を除い

て県下で統一となっています。福岡町の保険給付費は平均よりも低くなっています。

介護保険事業 特別会計

問 介護一次予防・二次

予防に分けて多くの事業

をしているが、多くの方

に呼びかけて参加してもら

うことが大切だと思っ

啓蒙はどのようにしてい

るか。

答 全高齢者に対して呼

びかけを行っています。



審議中の決算審査特別委員会

決算審査特別委員会

委員長	難波 靖通
副委員長	釜坂 道弘
委員	牛尾 雅一
委員	小林 博
委員	福永 繁一
委員	富田 昭市
委員	吉識 定和

問 いきいきデイサービスはすみよしの郷だけで行っているが、なぐさの郷でも行っているかどうか。

答 両方で行っていたものを、本来の介護サービスが増えたためすみよしの郷に集中させました。

議案ごとの質疑

23年度一般会計決算

滞納対策は

議員 一般会計の不納欠損が多く、うち固定資産税が約1000万円と大半を占めているが。

未納者対策は今後どうするの。

税務課長 固定資産税での内訳は時効による消滅

3件、債務者の無資力8件、生活困窮者の執行停止1件、行方不明16件です。

議員 法的措置をとったのは何件か。

税務課長 差押や参加差押、交付要求等で十数件です。

議員 相談件数が前年より減っているが、その原因は。

産業課長 22年6月に改正賃金業法が完全施行されたことによりトラブル

郡消費生活中核センター設置による効果は

が減ったことや、22年4月から相談員を3名に増員し、被害を未然に防止するため出前講座にも積極的に取り組んだ成果が出たものと思われます。

議員 県道での交通事故が増えているが

県道での交通事故が増えているが

議員 県道での交通事故が増えているということだが、主にどの路線なのか。

住民生活課長補佐 三木

穴栗線です。福岡北ランブから田尻交差点の間で6件、役場付近で8件、西谷の信号付近で7件発生しています。

八千種自然活用村の利用を増やす方策は

議員 八千種自然活用村のテニスコートは、使用人数が増えているものの使用料金が減っているのはなぜか。

産業課長 主に東中のソフトテニス部が利用していますが、使用料が免除になっているためです。

議員 農業体験などを行い、ふれあい会館やキャ

議員 八千種自然活用村のテニスコートは、使用人数が増えているものの使用料金が減っているのはなぜか。

産業課長 地元等と協議しながら検討していきたいと思っています。

ユニバーサル社会づくりは

議員 23年度にユニバーサル社会づくり推進協議会は開催したのか。

まちづくり課長 していません。

議員 参画と協働の面からも委員会等でいろんな

意見を聞き、地元のニーズや要望を十分考慮して進めるべきだ。

まちづくり課長 駅周辺整備等と合わせ、機会があることに協議会を開催したいと思っています。

自治大学校での職員研修を増やしては

議員 職員が自治大学校に入学して行う研修があるが、人選の方法と研修の目的は。

総務課長 行政経験、年齢、職階等を考慮して選任しています。将来の幹部職員の養成を目的としています。

議員 効果が大きいのなら対象者を増やしてはどうか。

副町長 今のところ、年に1町につき1人しか入学できません。

議員 長期にわたる研修だが、その効果は。

副町長 地方自治を基礎

総合窓口の時間延長の効果は

議員 総合窓口で金曜日に2時間の業務延長を行っているが、延長時間内にどれくらいの交付があったのか。

住民生活課長補佐 23年度で住民票101通、戸籍56通、印鑑証明63通、所得証明39件、外国人にかかる証明1件の260件です。



防災活動は

議員 消防団員の報酬はどうなっているのか。

住民生活課長補佐 火災

警戒出動で1人1200円 訓練出動で1人1100円です。

議員 団員の居住地は把握しているか。

副町長 把握していません。

議員 自主防災組織は全集落にできたのか。

副町長 全集落にありま

議員 各自治会の防災マップはまだ一部ではないか。

副町長 そのとおりです。

人口増につながる施策を

議員 人口がサルビアプランの計画のように増えていないがどうか。

副町長 人口が減少した大きな要因は、国勢調査で福崎町に居住する近畿医療福祉大学の学生数が大きく減少したことによ

るものです。町の人口施策としては少子・高齢化対策、子育て支援、基盤整備として都市計画道路中島井ノ口線、公共下水道整備などに取り組んできました。

職員の人件費は 構成比は

議員 人件費が前年度に比べて増加した原因は、

総務課長 給料は約0.2%

下がりましたが、共済費退職手当組合負担金などが増えたことによるものです。

議員 正規職員と非正規職員の割合はどうなっているか。

総務課長 24年4月1日

現在で正規職員162人 嘱託職員56人、臨時職員23人の計241人です。

柳田國男50年祭の成果は

議員 柳田國男50年祭と山桃忌において、町内・町外の参加人数はどうだったのか。

社会教育課長 8月6日

に行った講演会では、一般参加者467人のうち129人が町外からの参加者でした。

議員 サルビア田園アートはなぜうまくいかなかったのか。

産業課長 サルビアの性質や土壌についての事前の研究が足りなかったと反省しています。



サルビア田園アート

23年度国民健康保険事業

特別会計決算

議員 基金については監査委員からの報告でも非常に厳しいとされているが、前年度の決算の時の

残高よりも1000万円多く残ったので23年度は

取り崩す必要はなかったのではないか。

民生参事 基金の締めは

3月31日であり、まだ歳出は確定していないため予算どおり取り崩し、剩

余金処分で条例どおり積み立てました。

議員 見込み違いが大きすぎるのではないか。

副町長 歳出は規制がかかるため、安全性を確保するための予算を組んでいるのも事実です。今後は医療費の動向により慎重を期していきたいと思っています。

23年度介護保険事業

特別会計決算

議員 保険料の基準額は引き下げられたが、介護報酬は引き上げられてお

り今後、サービスは増加すると聞く。保険料の設定についてはどうなっているのか。

民生参事 第4期は財政

調整基金の2分の1を財源に保険料を引き下げま

したが、第5期は介護報酬の伸びもあって保険料も大きく伸びています。

議員 介護報酬分を加えると、保険料は上がったのではないか。

民生参事 保険事業自体が大きく伸びています。3年ごとに見直すという中での伸びです。

議員

高齢化が進んでいるので、今後10年、20年先を見込んだ対策や計画を立てていかなければいけないのではないかと。

民生参事 介護支援センターを中心、見守りや介護予防が必要な方の掘り起こしをしています。

民生参事 介護を受ける状態にならないようにするためにも、介護予防に力を入れています。

議員 介護予防教室に来

一人ひとりに介護予防教室等に参加していただけるよう努力しています。

教育委員の任命に同意

教育委員の任期満了に伴い、新たに藤本照子氏を任命することに同意しました。

住所

福岡町大貫349番地

氏名

藤本 照子

生年月日

昭和27年9月24日

任期

平成24年10月1日～

平成28年9月30日



24年度一般会計補正予算

議員

文化センターの空調を改修するということが、建設から42年が過ぎていて、耐震工事はどうなっているのか。

社会教育課長 21年度に耐震診断で不適格とされましたので、空調工事とあわせて耐震工事をしたいとは思っていましたが、財政状況や町全体で考える必要もあるということから、今回は空調の改修のみとなりました。

議員 財政状況が厳しいということだが、耐震工事の予定はないのか。

企画財政課長 八千種・高岡の幼児園建設などを予定しており、その後の検討になると思います。

議員 津染池の補修は2回目となる。工事を行った業者が倒産したということだが、費用が回収できる見込みがないまま町費で補修しようとしているのか。

産業課長 町の顧問弁護士からも回収は難しいと聞いていますが、町としての責任を果たす必要もありますので、町費で改修していきたいと思っています。

議員 町費で補修するということであれば、責任は誰が、いつ、どのようにするのかを明確にする必要があるのではないかと。

町長 最終的な執行責任は私が負うことになると思います。町が誠意をもつて改修し、できるだけ努力はしていきます。

議員 福岡幼児園の駐車場を拡張しなければならぬ理由は何ですか。

学校教育課長 駐車スペースが狭いこと、送迎車と園児の歩行ルートが重なり危険が生じていること、また、保護者や地元からの要望も多くあったためです。

23年度決算に対する

監査委員の意見（要旨）

代表監査委員 城谷 章
議会選出監査委員 志水正幸

〔一般会計〕

実質単年度収支は3年連続の黒字であるものの、今後も厳しさは続くと考えられる。身近な暮らしを支える福祉・医療の充実や地域経済の振興など、町民生活を直接支える行政運営への期待はますます高まっている。今後においてもさらなる財政健全化に向け努力されたい。

なお介護保険給付費が前年度比約9995万円増加している。介護サービス給付費の抑制のためさらに介護予防事業に力を入れるほか、在宅で介護する者への特別な支援策の拡充を検討されたい。また、公共下水道事業は25年度に一般家庭等の下水道事業が完了する予定であるが、その後も大規模な懸案事業も多い。中長期の計画を立てるべきでないか検討されたい。

その他、工事監理や検査機能の強化を図り、施工不良や事故等の再発防止への取組強化を求める。

収入未済額が特別会計全体で約1億3880万円となっており、主には国民健康保険税である。税負担の公平・適正化を図るため収入未済額の減少に努められたい。

収入未済額が特別会計全体で約1億3880万円となっており、主には国民健康保険税である。税負担の公平・適正化を図るため収入未済額の減少に努められたい。

収入未済額が特別会計全体で約1億3880万円となっており、主には国民健康保険税である。税負担の公平・適正化を図るため収入未済額の減少に努められたい。

収入未済額が特別会計全体で約1億3880万円となっており、主には国民健康保険税である。税負担の公平・適正化を図るため収入未済額の減少に努められたい。

収入未済額が特別会計全体で約1億3880万円となっており、主には国民健康保険税である。税負担の公平・適正化を図るため収入未済額の減少に努められたい。

下水道使用料に関する 異議申立てに対して答 申を行いました

公共下水道使用料につ
いて地方自治法第229
条の規定による異議申立
てが町に提出され、同法
に基づいて町長から議会
に諮問がありました。

異議申立ての内容は、
町内の貸店舗で飲食店を
経営する方から「本人の
同意なく公共下水道への
接続が行われたのである
から、下水道使用料の徴
収は不当である」という
ものです。

本会議での質疑の後、
産業建設常任委員会では
審査し、この件については
「棄却するのが相当と認
められる」と決定し、本

会議での採決の結果、棄
却すべきであるとの答申
を行うことに決定しまし
た。

理由は、①下水道法第
10条で、公共下水道への
排水設備の設置を建築物
の所有者もしくは土地所
有者に義務付けているこ
と②同法第20条で、使用
料金は「条例で定めると
ころにより、公共下水道
を使用する者から使用料
を徴収することができる
と定めていること③本件
は、複数の入居者が共同
で使用していた合併浄化
槽から、個々の入居者の
排水が各々、公共下水道
に接続されたことにより
使用料が発生したという
ものです。

異議申立て人の「公共
下水道への接続に了承が
なかったこと、使用開始
届を提出していないこと
をもって公共下水道使用
料の徴収を行うことは不
当である」との主張は正
当性が認められないとの
結論になりました。

建設工事等にかかる 不正行為に関する調 査委員会からの報告

カ ^ サ) ^ q

9月3日の全員協議会
で、建設工事にかかる不
正行為等に対する取り組
み及びその再発防止策に
ついて報告を受けました。

①(有)アケボノ企画との訴 訟事件

2審判決の確定後、5
月16日に再度、(有)アケボ
ノ企画から訴訟が提起さ
れたと報告がありました。

②津染池改修工事におけ る漏水問題

21・22年度に(株)龍巳が
行った津染池(南大畠)
で漏水があり、23年度に
グラウト工法により止水

対策を行いました。工事
費の262万5000円
を(株)龍巳に請求しまし
たが、保険の範囲内である
150万円のみが支払わ
れています。なお漏水は
軽減されたもののまだ続
いているため、対策工事
を行うための予算を9月
議会に上程し、農繁期が
終わりましたので工事が行わ
れます。

③舗装工事における損害 賠償請求事件

昨年10月20日、八反田
において下水道舗装本復
旧工事中の町道東大貫溝
口線を走行していた貨物
自動車に積載中の卵が割
れたことから、12月に町
と請負業者である播州興
産(株)を相手に訴訟が起こ
されました。

町としては、民法第7
16条の規定により「発
注者は責任を負わない」
との立場で臨んでいくと
のことでした。

町長が専決処分できる事項が 追加されました

9月25日の本会議にお
いて、議員提案により町
長が議会の議決を経ずに
専決処分できる事項を追
加する議案が上程され、

賛成多数で可決しました。
法律上町の義務となる
1件100万円以内の損
害賠償の額を定めること、

及びこれに伴う和解及び
調停に関するものを専決
処分できるとするもので
す。

なおこの議案の可決後
町長から一般会計予算に
100万円を追加する補
正予算案が提出され、賛
成多数で可決しました。

④長目雨水幹線渠工事に おける井戸枯れ補償問題

22年度に完了した長目
雨水幹線渠工事によって
井戸枯れが生じたとの申
し出があり、町として対
応してきたもののまだ解
決には至っていないとの
ことです。

なお、調査に要した
費用と手直し工事の施工
を当時の施工業者に負担
を求める通知をしたこと、
そして施工計画書の提出
状況についても報告を受
けました。

⑤下水道工事におけるマ ンホール施工不備の問題

今年4～6月に実施し
たマンホール調査の結果
について報告を受けまし

不正行為等の再発防止
策として①職員の現場監
督能力の強化②請負業者
への監督強化③外部検査
の導入による工事検査体
制強化等に取り組むとの
報告を受けました。

保育所・幼稚園・小学校・中学校へミスト散布器を設置

総務文教常任委員会



ミスト散布器の設置状況（高岡小学校）

熱中症対策として、保育所・幼稚園・小学校・中学校へ水を霧状にして散布する装置が設置されました。
これにより、熱中症対策として効果が期待されます。

全国学力・学習状況調査結果

全国学力・学習状況調査が小学校6年生と中学校3年生を対象に行われました。本年度は抽出校方式で、福崎町では対象となった学校はありませんでしたが、町内の全ての小中学校で自主参加したとの報告を受けました。採点結果の速報値については、小学校では基礎を問う部分（A）では全国、県平均に近い結果となり、応用力を問う部分（B）では全国、県平均

平均正答率（国・公・私立）

【小学校】

教科	福崎町	全国	兵庫県
国語A	81.3	81.7	82.4
国語B	52.7	55.8	55.5
算数A	75.0	73.5	73.7
算数B	58.7	59.2	59.2
理科	61.7	61.1	59.6

（単位：％）

【中学校】

教科	福崎町	全国	兵庫県
国語A	79.8	76.1	75.9
国語B	64.2	64.2	62.2
数学A	68.2	63.6	63.9
数学B	52.5	51.1	50.0
理科	55.8	52.1	51.9

（単位：％）

を少し下回る結果となりました。中学校では基礎・応用力ともに全国、県平均を上回る結果となりました。

今年度は国語、算数・数学、理科でしたが、来年度は国語、算数・数学で学力調査を行う予定となつていくとのことでした。

マニュアルを作成し、いじめ問題への対応を徹底

近ごろ問題となつてい「いじめ」問題について、7月末に県教育委員会からの通知があったことを受けて福崎町においても臨時校長会を開き、いじめのない学校づくりに全力投球するよう要請したほか、他市町の教育委員会とも情報交換しな

がら、いじめを許さない学校づくりのため教職員用の対応マニュアルを作成し、全教職員に配付・徹底していくとの報告を受けました。
なお、各学校においても児童・生徒による「いじめ追放集会」の開催や「いじめ追放宣言」の作

成に取り組んでいくとのことでした。

委員長 東 修一
副委員長 釜坂 道弘
委員 志水 正幸
委員 城谷 英之
委員 富田 昭市
委員 前川 裕量

秋田県湯沢市・横手市へ行政視察

民生常任委員会

空き家対策条例についてー横手市

横手市は平成17年の合併以降の5年間で人口が約5000人減少しており、過疎も進む中で危険な空き家も増加し、平成22年の豪雪により管理が不十分だった空き家29棟が倒壊して事故が発生したことから、今年「空き家等の適正管理に関する条例」を制定し、7月から本格運用されています。

この条例は財産権所有権に抵触しない範囲で空き家の適正管理を義務付け、行わない者には市が行政指導・命令・公表を行うもので、重大な危険性があり、即座に除去しなければならぬものについては、行政代執行法による執行も検討する必要がありますとのことでした。

も放置される大きな要因
とのことですが、福崎町でも空き家が増えており、

今後、大きな課題だと思われま



横手市役所での研修の様子（7月24日）

保健・医療の充実と健康づくりー湯沢市

湯沢市は、まちづくりの基本目標の中に「健康と暮らしをともに支えるみんなの笑顔が輝くまちづくり」とうたい、福祉に力を入れられていることがうかがえます。

主には、①同市では平成5年から特定健診の負担金を無料にして病気の早期発見・早期治療に努め、医療費の削減に取り組みま

②乳歯が生えそろった頃である2歳児を対象に歯科検診を実施されています。

③中学3年生の女子を対象に骨粗しょう症の健診を行い、その結果を説明、スポーツや栄養指導を行っています。

④法定による福祉・健康・医療・障がい・介護においては「安心生活創造事業」、「地域包括ケア推進事業」、「地域包括ネットワーク協議会」の3つの事業も展開されています。この3事業のいずれにも対象とならない

ものの支援を必要とする市民に対しては、地域ごとにそれぞれの担当者が集まる会議を開き、対応されているのが特徴的でした。

福崎町においてもこれらを参考に今後、必要であつても制度による支援の対象とならない住民に対する支援を進める必要があるのではないかと感じられました。



委員長	委員	委員	委員	委員
難波	牛尾	小林	高井	松岡
靖通	雅一	博	國年	秀人

三重県いなべ市・多気町・菰野町へ行政視察

産業建設常任委員会

農業公園の取り組みーいなべ市

いなべ市では、合併前の旧藤原町においてダム建設の補償として農地が開発されました。農業の衰退により工業団地としての利用も検討されましたが、農業公園としての整備が行われました。地元では高齢化率が60%以上になっていったことから高齢者が働く場・収入を得る場としても整備され、完了後はシルバー人材センターにより維持管理が行われています。

運営にあたっては、事業費の8割が戻るといふ辺地対策事業としてのメリットがあるほか、梅・ボタン園の入園料や雑草の堆肥化事業で4000万円、パークゴルフ利用料1500万円を収入源としています。基金を取り崩してシルバー人材センターへの支払い等に充てられている状況にあり、基金が底をつくまでに自立できる運営を目指すことが課題とのことでした。



農業公園内のパークゴルフ場

「まごの店」を中心とした地域活性化ー多気町

多気町では、地域の農産物の活用・販路拡大と、町内にある「高校生レストラン」としてテレビドラマ化もされた県立相可高校食物調理科の生徒の調理実習を本格的に行いたいという同校教員の熱意とが結び合わさって「まごの店」が運営されています。

この「まごの店」は、クラブ活動として土・日曜日の朝から定食約200食と、その後、予約のフルコースを有料で提供する施設として、町が8000万円をかけて整備したことで、以前から動物園もある「五桂池ふるさと村」という施設の一角という立地もあり、今も町民だけでなく遠方から訪れる方が多くなっているとのことでした。



「まごの店」内での研修

マコモ活用プロジェクトー菰野町

菰野（こもの）町では、町名のいわれとされる健康食材「マコモ」を特産品として普及させようという取り組みが行われています。大正時代に開墾されたものの、獣害によって耕作放棄地となった農地3000㎡を21・22年度の2力年で再生し、獣害に強く、湿田にも合うマコモを作付け、中華料理にも使われていたこのマコモの商品化が図られています。



マコモ栽培の田

委員長	石野 光市
副委員長	福永 繁一
委員	北山 孝彦
委員	宮内 富夫
委員	吉識 定和

議会改革の取り組みに着手

議会運営委員会

議会改革の取り組みについて 勉強会を開催

9月3日、福岡町議会として議会改革の取り組みについて学ぶため、立命館大学の駒林良則教授を招いて講演をいただきました。

講演では、「今後の議会改革の展開について」

として、最近重要視されている「通年議会の選択的導入」及び「議会基本条例」にしばってお話しいただき、今後の取り組みに必要なポイントについて研修することができました。



本会議録画映像のインターネット配信を開始

8月8日、福岡町議会のホームページから本会議録画映像のインターネット配信を開始しました。本会議の開催日ごと、議案ごと、一般質問を行った議員ごとにご覧いただくことができます。

現在、24年6月議会・9月議会分のみしかご覧いただくことはできませんが、今後、定例会閉会后約2週間をめどに順次配信を行っていきます。



本会議録画映像配信のトップページ

定数は現行の16名で据え置き 政務調査費の運用基準を見直し

議長から議会運営委員長に対し、「議会改革の取り組みについて」として諮問がありました。委員会としては、定数問題については全議員に関わる問題であることから全議員協議会において協議することを決定し、全員協議会での議論を重ねた結果、定数は現行の16名で据え置くことを確認しました。

また、政務調査費については導入から3年を経過したため、より使途の明確化と透明性が確保できるように運用基準を見直しました。

委員長	小林 博
副委員長	宮内 富夫
委員	釜坂 道弘
委員	富田 昭市
委員	東森 修一
委員	福永 繁一

ここが聞きたい

一般質問

10人の議員が町政を問う!

議員にとって「一般質問」は、公の場である議会で、議案に関係なく町長の考え方や町政をただす大切な場です。



松山砂防ダムの建設要望は

地元と調整しながら進めていきます



前川 裕量

問 県道の拡幅や砂防ダムの建設は、「県事業」として要望するが県の予算化を待つしかない」と諦めるのではなく、汗をかき知恵を絞ってほしい。特に松山砂防ダム（福田）は排水溝が狭小なため、大雨ともなると水があふれ、周辺は水浸しになる。排水溝を拡張すればある程度は防げるので、これなら町単独で対応が可能かと思われるが。

まちづくり課長 県事業が難しい中で、町単独事業は地元区にも負担を伴いますが、地元の区長さんと調整しながら整備を進めていきたいと思いま

す。

す。

問 24年度でガードレールの整備、通学路の整備は何力所を予定しているのか。また、整備箇所の決定基準はあるか。

住民生活課長補佐 ガードレールの設置については、転落防止柵を1力所検討中です。通学路の整備については啓発看板4

件 通学路標識2件、カーブミラーを2件対応しています。整備箇所の決定基準は、歩行者の数や交通量で特に定まったものはありませんが、学校等からの要望が提出され次第、各課と協議し、現場確認の上で対応していきます。



歩道が途切れて危険、車道の端を歩く中学生

運動会・体育大会の春（5～6月）実施は

学校の行事・日程から考えると難しいかと思ひます



牛尾 雅一

あるため難しいと考えま
す。

問 運動会などの学校行
事は教育委員会の指導の
もとに行われるのか。

教育長 各学校が主体で
決めますので、学校やPTA
で研究されてはと思ひ
います。

問 温暖化の影響が9月
は連日真夏日が続く異常
な状態である。児童・生
徒の健康を考え、運動会
・体育大会の開催を春（
5月～6月）に変えては
どうか。

教育長 全国的に1学期
に変更する学校が増えて
います。福岡市では保
育所・幼稚園・小学校は
合同で行っており、1学
期は園づくり・学級づく
りに取り組む時期である
こと、子ども会球技大会
も重なり、児童の健康へ
の配慮が大きく必要とな
ります。また中学校は修
学旅行やトライやる・ウ
イーク、総合体育大会が

狹友会で5基を管理する
ので手いっぱいです。

問 地域や被害の出そう
な農地の持ち主も協力で
きる仕組みが必要ではな
いか。

産業課長 そうなればあ
りがたいと思ひます。

問 気候や山林の管理の
影響が、今までシカ・イ
ノシシの出没が少なかつ
た地域でも多くの被害が
発生している。銃の規制
が厳しくなり、これから
はわが中心と聞く。わ
なでの捕獲は何件か。

産業課長 大型おりを今
年2月に5基設置し、8
月末でシカ5頭、イノシ
シ6頭を捕獲しました。

問 大型おりをもっと購
入し、必要な所に設置し
てはどうか。

産業課長 餌づけや見回
りなどが必要ですので、



西中の体育大会（9月16日）



志水 正幸

問 今年も小学6年生と
中学3年生の全国学力テ
ストが実施された。本町
の生徒の成績は。

教育長 小学生は全国平
均並み、中学生は平均よ
り上位でした。今後は応
用力を伸ばしたいと思ひ
ています。

問 中学校の部活動は集
中力や忍耐力等を養い、
人間形成の基礎を培うた
めに大切である。東中の
ソフトテニス部員は男女
69人でコートは2面しか
なく充分な練習ができな
い。他の部も問題はない
のか。

学校教育課長 特に東中
のソフトテニス部、バス

ケット部、バレー部には
練習場所の確保に苦勞を
かけています。公的施設
の支援をこれからもお願
いしていきます。

問 本町の人口も年々減
少し19267人になつ
ている。将来推計人口は
事業計画に違つてい
るが、今後の推計人口は
どうなるのか。将来人口
の予測は、町の未来を創
造する重要な基本指標で
もある。次の第5次総合
計画策定時に推計人口を
設定する必要があるの
ではないか。

企画財政課長 平成16年
度の第4次総合計画以降
は、将来人口の予測はし
ていません。

問 今後、人口はもっと
減る。子育てや高齢者福
祉を充実させ、多くの
人が本町に住みたいと思ひ
魅力ある定住促進の施策

を実施すべきでないか。

企画財政課長 農業経験
者を支援する新規就農事
業や町内に若者の定住を
増やすための施策を実施
するなど、定住人口を増
加させる取り組みを行
います。



東中のソフトテニス部の練習



防災面からも香福橋付近の美化を

県に求めています



石野光市

問 市川の香福橋付近は川幅が狭く、雑木・雑草の繁茂は防災面から早急に改善が必要ではないか。

まちづくり課長 県に実状を伝え、要望します。

問 全国的にいじめ問題と学校・教育委員会の対応のまずさが問題になっている。文部科学省、県教育委員会が共通して、「いじめは決して許されないことであり、どの子どもにも、どの学校でも起こり得る」との認識の大切さや、「いじめを行った子どもには特別の指導のほか、必要に応じ出席停止など毅然とした対応を行う」姿勢で、子ど

もを守る立場での適切な対応を求めている。厳罰主義でなくいじめを人権問題ととらえ、いじめを許さない学校づくりといじめの早期発見・適切な対応の両面を進めるべきだ。

教育長 いじめを基本的

人権の侵害ととらえ、いじめを許さない立場で、夏休み中に「教職員用いじめ早期発見・対応マニュアル」を作成・配布して徹底を図っています。また子ども自身にもいじめ追放の標語を募集する

など、推進していきます。

問 子どもの権利条約を地域に生かす条例制定の先行例がある。当町でも検討を望むがどうか。

教育長 研究してみます。

問 各戸に配布された「福崎町の福祉・サービスのしおり」に、住民税非課税世帯で医療費等の支払いが困難な世帯に対し年間3万円を上限に助成する社協の制度が掲載されていないが、改善策は

民生参事 社協の広報発行時に対応をお願いしたいと思っています。



市川 香福橋の北側

6月の水害でガレキ流出。除去計画は

ガレキの量を把握しながら対応したいと思っています



福永繁一

問 七種の奥池南の駐車場

場で6月の水害により護岸がえぐられ、ガレキが流出している。周辺は水も環境も美しい所と自負してきたが、今の姿を見ると、誇りにしてきたことがすべてなくなる。今後の復旧は、

まちづくり課長 護岸の復旧は県でできないか協議します。ガレキ等については、見えているところから整備していきます。

問 各所にガレキが飛散している。除去を。

まちづくり課長 どこにどれくらいガレキがあるのかを把握しながら対応していきます。地元

協力を得ながら実施していきたいと思っています。

問 昨年12月に桜区で補強工事をした箇所の一部が崩壊し、下流の堤防の河床が約30mなくなっている。崩壊すれば桜区のみでなく下流の地区も冠水すると思うが、県の対応についてはどうか。

まちづくり課長 緊急に

対応するところは対応しています。河床の洗掘についても県に伝え、対応をお願いしています。

問 豪雨のたびに亀坪の大蔵神社前の雲津川が氾濫する。対応を。

まちづくり課長 いろいろ検討しながら、地元とも協議し対応していきたいと思っています。



護岸がえぐられ、復旧を待つ駐車場

施設の老朽化は、売却可能資産の活用は

検討します



宮内 富夫

化が必要です。診断結果をみて優先順位を付け、検討していきたいと思っています。

問 売却可能資産である旧福岡南保育所跡地は以前に公売を行ったが不調に終わった。売却が難しい事業を、参画と協働を進めるうえでもNPOや公益法人等への影響を考

えれば、行政の一翼を担っていたこともでき、また有効活用が図られ、自立のまちづくりにつながっていくのではないかと。企業財政課長 売却できるものは売却したいと思っています。遊休資産、売却可能資産で有効活用を図ることができる物件は、活用を検討していきたいと思っています。

問 自治体にも企業会計的な手法が必要として会計制度が導入され、21年度から新しく総務省方式改定モデルにより報告されるようになった。貸借対照表を見ると、資産の部の総務資産には庁舎、教育資産には文化センターがあり、どちらも耐用年数が50年であるが、建設後概ね40年が過ぎ老朽化が進んでいる。耐震工事も未だされておらず、防災面から見ても新築もしくは長寿命化が必要かと思うが、検討しているか。



旧福岡南保育所跡地

自立のまちづくりは進んでいるか

一定の成果が見られます



吉 識 定 和

聞き取り調査を行い、改善します。

問 「ボランティア・NPO育成枠」は団体の設立に対してとあるが、これまで何団体に助成したのか。

企業財政課長 9団体です。

問 取組数減少の結果をふまえ、事業の妥当性・有効性・効率性の観点から総括を。

企業財政課長 これまで取り組んでいた15自治体にその後の状況を聞きましたが、継続して活動していただいていますので、一定の成果があるものと思っています。

問 今後の年次計画と目標は。

企業財政課長 自治会に自主防災活動に取り組んでいただくようお願いしていますが、この活動も

問 この事業の「一般枠」での23年度実績はわずか4団体だが、これで町長が提唱し推進する自立のまちづくりを進めるのにふさわしい数と言えるのか。なぜこのような結果に終わるのか。

企業財政課長 ふさわしいとは思っていません。



地域づくりの自主防災訓練

駅前広場と県道整備はどうなっているか

継続的に検討を進めています



北山 孝彦

問 駅前広場及び県道甘地福崎線の整備はどうなっているか。

技監 県やＪＲと協議することともに、町内部でも継続的に検討を進めています。

問 駅前から山崎までを一挙に整備するのは困難だと思うが、どのような手順で進めるのが望ましいと考えるのか。

技監 朝夕の通学・通勤ラッシュ時に危険な状況にある、駅から高校前の踏切までの間を先行整備し、完了後さらに北側の整備を進めたいと考えています。県も同じ考えです。

問 駅バリアフリー化の検討状況は。

技監 ＪＲはエレベーター２基、多機能トイレ１カ所を設置予定です。概算事業費は約３億円で、ＪＲと国が３分の１ずつ、県と町が６分の１ずつ負担することになります。

問 七種川流域の護岸がかなり崩れているので整備を求めたいが。

まちづくり課長 県が大型土のうによる緊急工事を行っています。流出した護岸の外に本来の石積みがあり、様子を見ながら対応していくと聞いています。

問 七種川は近年の集中豪雨を見ても災害に強い整備が必要ではないか。
まちづくり課長 県からは、浸水被害のある河川を優先整備しており、七種川は改修計画に入っ



安心安全の確保のため早期の駅周辺の整備を

いないと聞いています。

問 福崎町におけるいじめ問題に対する取り組みは。

教育長 いじめを許さない学校づくりのため教職員用マニュアルを作成し、共通理解と共働実践を行うよう指示しました。さらにひどい事案が発生すれば第三者委員会を設ける予定です。

「子どもの命を守る」通学路の整備を急げ

危険箇所の報告・要望書を県に提出します



富田 昭市

問 通学中の「子どもの命を守る」ための通学路緊急合同総点検を国の指示のもと実施した結果、町内の各地域で危険箇所が多数出ている。この結果を点検のための点検に終わらせないために、

「目に見える」諸対策の迅速かつ計画的な実施をしなければ通学路の安全対策にはならない。ぜひ計画的に工事を進めるよう強く求める。

住民生活課長補佐 危険箇所については県教育委員会に書面で報告し、県土木関係については11月に要望書を提出する予定です。

問 地方自治体が独自性を発揮し、自主性を強化するために成立した「地域主権一括法」のうち、第一次と第二次「一括法」が来年度4月に本格的に施行を迎えることから、本町ではこの機会に体制の整備、人材の育成をしっかりとやることで、他の市町に負けない本町独自の基準で住民に優しいまちづくりができると考えるが。

問 地方自治体が独自性を発揮し、自主性を強化するために成立した「地域主権一括法」のうち、第一次と第二次「一括法」が来年度4月に本格的に施行を迎えることから、本町ではこの機会に体制の整備、人材の育成をしっかりとやることで、他の市町に負けない本町独自の基準で住民に優しいまちづくりができると考えるが。

住民生活課長補佐 人口の少ない福崎町では経費面から無理です。等々の立場で協議できる場が設置されましたが、今後の推移を見守りながら粛々と進めていきます。

問 近年、一部の自治体で実施されている「コンビニ」での各種証明書交付サービスは、住民がいつでも必要に応じて時間に関係なく入手できるので、当町でも実施を求め



23年度に舗装した桜池周辺の通学路

駅周辺整備計画と駅バリアフリー化を急げ 積極的姿勢で臨みます



小林 博

問 「くれさか」の将来計画に対する協議の進捗状況と、ゴミ減量化計画はどうか。

副町長 姫路市では、議会等から委託方式にしてはとの意見があります。福崎町としては現在の形での存続を求め、協議中です。

住民生活課長補佐 減量化は1人1日900グラムが目標です。

問 都市計画道路の見直しは、町の事情に沿って進めてほしい。都市計画全般の検討を求めるが、まちづくり課長 県の指針に基づいて検討しますが、福崎町の事情も組み

込むようにします。

技監 土地利用や雨水排水等の関連計画も含め、総合的に検討します。

問 駅周辺整備計画は案を早く公表し、住民・議会が検討できるよう求める。年次計画はどうか。

技監 来年度には案を公表し、26年度に手続に入れるよう取り組んでいきます。

問 駅バリアフリー化の計画年次はどうか。

技監 JRからは事前協議に2年、工事に1年の計3年を要すると聞いています。今後、駅前広場計画との整合性も含めて年次計画を検討します。

副町長 電化時にはJRに無利子貸付した経緯があり、今後さまざまな建設計画がある中で、財政計画上の検討も必要です。

問 水害常襲地帯である

福田の西や高校周辺、また西中からの排水と土砂流出防止対策が必要ではないか。避難準備勧告は七種川等の実状を把握し、的確に行ってほしい。

まちづくり課長 実施に向け検討していきます。

問 入札・工事監理にかかる資料の公開や、監査委員の待遇改善を含む機能強化を求めるが、総務課長 情報公開条例に基づき公開します。



バリアフリー化が期待される福崎駅

議会インタビュー



「福崎町猟友会」

(代表 関 良一 さん)



猟友会は本来、狩猟を好む方が集まった団体ですが、最近はシカやイノシシなどによる農作物への被害も増えており、福崎町猟友会の皆さんの力を借りてその対策が進められています。

今回は、代表の関良一さんにお話をうかがいました。

駆除活動の内容は

町からの委託を受け、一年を通じて銃及びわなによる有害鳥獣(シカ・イノシシ)による駆除に取り組んでいます。銃の取り扱いや安全確認には細心の注意を払い、事故防止に努めています。

駆除班の人数 年齢構成は

9月現在で銃器班18名・わな班8名です。50代・60代の在職者が中心です。

アライグマやヌートリアなどの外来種が増加していると聞きますが

課題と展望は

会員の高齢化や狩猟人口の減少・担い手不足が深刻化していますので、若い方の加入を願っています。また、駆除活動にあたっては地域の協力が不可欠ですので、猟友会と地域の連携体制を強化し、効率的な駆除活動を進めていきたいと思っています。



ため池教室 (庄・新池)



わたしおひろい

昔の池 川が懐かしい汚れた水は 我々の手で

田原地区 70代 男性

本町の下水道事業も南田原の一部(工事中)を除いて完了し、生活環境は一気に改善し都会並みの生活ができるのは大変ありがたいと思います。今後は、池や河川が昔のようにきれいになれば雄大で美しい自然環境に戻るものがあると考え、嬉しくわくわくする気分になります。

そのような思いで、ドロドロした黒っぽい池の水も徐々にきれいになり、下流域の田畑の農作物にも好影響を与えていることは事実です。

昔、私が子供の頃は素足で川に入り、小魚や貝を採って鶏の餌にしたり、母親たちは川で野菜を洗ったり洗濯をしていた光景を懐かしく思い出します。しかし近年、川は立派に改修されて洪水被害の心配もなく暮らせるのは嬉しいのですが、川の水に触れるのは河川の清掃の時ぐらいになり、水との親水性がなくなっただだ眺めるだけの川に変貌してしまっています。昔のように小魚が泳ぎ、夏にはホタルが乱舞するような川に戻らないだろうかと思っています。

一昨年、雲津川に「カワニナ」450匹を放流しました。来年もたくさんさんのホタルが飛び交うのを楽しみにしています。落ヶ池の水も、川も、排水路も、我々の心がけ次第できれいにする事ができ、一人ひとりがちよっとした取り組みで地域の環境が素晴らしいものになります。

我々が汚した水は我々の手できれいにし、自然美があふれる住みやすい福崎町にしましょう。

編集後記

秋祭りは晴天に恵まれた中で盛大に行われました。2日間の祭りを通じて地域のコミュニティもさらに深まったのではないのでしょうか。

さて、議会では将来の福崎町議会のあり方について研修会を行うなど、議員自らが開かれた議会づくりを目指した取り組みを始めています。私たち議員に残された任期はあと半年あまりとなりましたが、将来に向けてより活発な議会となるよう努力を重ねてまいります。



◆議会広報編集委員会

委員長	牛尾 雅一
副委員長	石野 光市
委員	北山 孝彦
委員	志水 正幸
委員	城谷 英之
委員	難波 靖通

ふくさき議会だより第124号
平成24年11月15日 発行

発行／兵庫県福崎町議会
編集／議会広報編集委員会
印刷／中井総合印刷株式会社

〒679-2280 兵庫県神崎郡福崎町南田原3116-1
TEL:(0790) 22-0560 FAX:(0790) 22-2342
ホームページ: gikai.town.fukusaki.hyogo.jp/
メールアドレス: gikai@town.fukusaki.hyogo.jp
この広報誌は再生紙を使っています。